

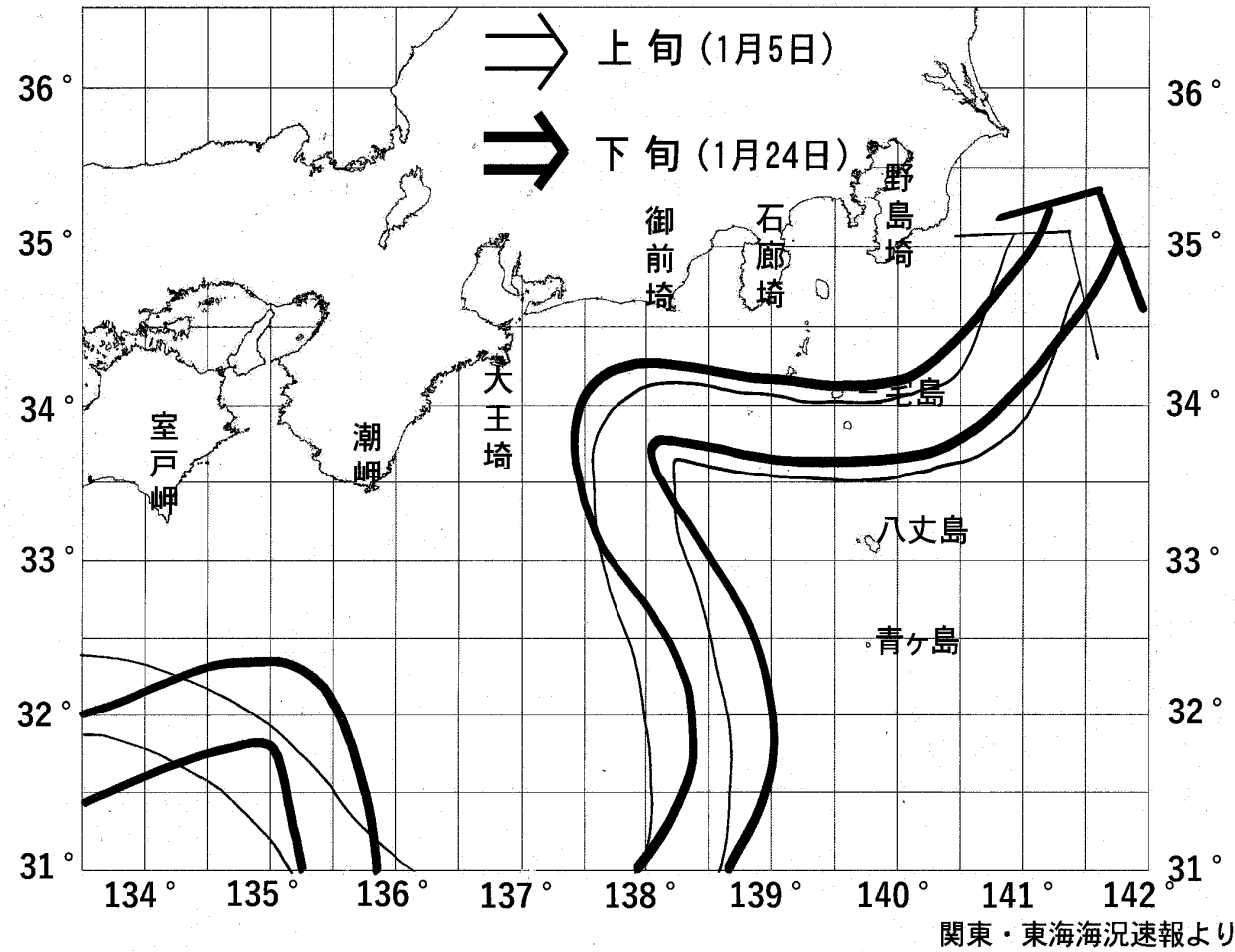
漁海況月報

令和5年1月1日

No. 1 ~1月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



1月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.2	15.5	15.6	16.0	15.8	15.6
	-0.1	-0.6	-0.1	0.4	0.4	0.3
中旬	15.3	16.0	15.9	17.3	16.5	15.4
	0.5	0.5	0.6	2.2	1.5	0.5
下旬	14.5	15.1	15.1	15.3	15.2	15.5
	0.2	0.1	0.3	0.7	0.9	1.0
月	15.0	15.5	15.6	16.2	15.8	15.5
	0.2	0.0	0.3	1.1	1.0	0.6

※平年値：過去30年(平成3年～令和2年)平均値

【黒潮流路】

1月を通じてA型で、大王崎沖で大きく離岸した後、御前崎沖に北上する流路となった。

上旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から御前崎沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島～八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

中旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.5°N付近から御前崎沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から御前崎沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られたほか、一時的に石廊崎沖の黒潮北縁から駿河湾に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は稲取で「やや低め」、それ以外の地点で「平年並み」であった。中旬は伊東、稲取、下田、焼津で「やや高め」、雲見、沼津で「高め」であった。下旬は伊東、稲取、下田で「平年並み」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。

【竿釣カツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月の水揚げなし)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年 1月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
R5年 1月計	0	0	-	-
R4年 1月計	0	0	-	-
R3年 1月計	0	0	-	-

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は231.2トンで、前年(1,494トン)の15%、平年(258.8トン)の89%であった。また、1か統あたりの水揚量は33.0トン(前年:213.4トン、平年:37.0トン)であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(82.7トン、マイワシ、さば類、マルソウダ)、次いで古網漁場(37.1トン、マルソウダ、スルメイカ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁の表のとおりで、マルソウダは63.1トンで、前年比3.8倍、平年比23.9倍で、1月の水揚量として1982年以降最も多かった。マイワシは62.2トンで、前年比8%、平年比1.5倍であった。さば類は47.0トンで、前年比7%、平年比77%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは11.8トンで、前年比5%、平年比85%であった。ゴマサバは35.2トンで、前年比9%、平

年比81%であった。スルメイカは27.5トンで、前年比3.8倍、平年比51%であった。オアカムロは6.3トンで、前年比37%、平年比4.4倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下表のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは古網漁場が36% (23.0トン)、北川漁場が22% (14.2トン)、川奈漁場が15% (9.6トン)、マイワシでは北川漁場が57% (35.2トン)、川奈漁場が21% (13.2トン)、さば類では北川漁場が44% (20.4トン)、赤沢漁場が15% (7.1トン)、スルメイカでは富戸漁場が24% (6.5トン)、古網漁場が19% (5.3トン)、北川漁場が16% (4.3トン)、オアカムロでは北川漁場が85% (5.4トン) を占めた。

*平年：昭和57年～令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	63.1	3.80	23.89	古網、北川、川奈
マイワシ	62.2	0.08	1.53	北川、川奈
さば類	47.0	0.07	0.77	北川、赤沢
スルメイカ	27.5	3.75	0.51	富戸、古網、北川
オアカムロ	6.3	0.37	4.42	北川

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、漁場は上旬は利島及び千波、中旬以降は千波に形成された。水揚量はマサバ4トン(前年同月5%)、ゴマサバ424トン(前年同月比1.1倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.2トン(前年同月比6%)、ゴマサバ17.7トン(前年同月比1.2倍)であった。

平均単価は、マサバは328円/kgで前年同月(126円/kg)を大きく上回った(前月水揚無し)。ゴマサバは212円/kgで、前月(161円/kg)、前年同月(124円/kg)を大きく上回った。

水揚物の体長組成は、マサバは37cm、ゴマサバは33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年1月上旬	0	24	2	2	0.0	12.2	540	215	利島、千波
中旬	2	247	8	14	0.2	17.7	293	213	千波
下旬	2	153	4	8	0.2	19.1	377	212	千波
R5年1月計	4	424	14	24	0.2	17.7	328	212	千波、利島
R4年1月計	90	379	14	25	3.6	15.2	126	124	千波、利島
R3年1月計	0	150	7	10	0	15.0	203	114	大島南部

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が150kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が265kgであった。平均水揚量は187kgで前年同月(131kg)の1.4倍、平年同月(過去5か年平均:106kg)の1.8倍であった。また、総水揚量は50.3トンで前年同月(26.7トン)の1.9倍、平年同期(19.6トン)の2.6倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。平均単価は1,825円/kgで前年同月(803円/kg)の2.3倍、平年同月(1,281円/kg)の1.4倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	0.7	1	8	84	1,164
	舞阪	12.6	3	43	294	1,381
	福田	1.5	1	13	119	2,080
	御前崎	8.5	3	24	353	1,490
駿河湾	吉田	13.3	4	98	136	2,221
	静岡	13.7	5	83	166	2,060
R5年1月計	50.3	17	269	187	1,825	
R4年1月計	26.7	12	204	131	803	
R3年1月計	20.8	9	186	112	1,185	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では86.8トン(前年同月10.9%、平年同月比36.8%)、小川港では0.012トン(前年同月比0.002%、平年同月比0.01%)、伊東港、静岡港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港いずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは62.2トン、カタクチイワシは0.02トンであった。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

1月5日～	1月6日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
1月10日～	1月12日	地先定線観測調査	(3日間)
1月16日～	1月16日	安倍川沖海底調査	(1日間)
1月17日～	1月18日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
1月19日～	1月19日	深海採水試験	(1日間)
1月23日～	1月23日	MaOI マイクロプラスチック調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

